

学校だより

令和8年3月2日(月) 第11号

心の豊かな生徒・自ら学ぶ生徒・強くたくましい生徒

さいたま市立西原中学校

住所 さいたま市岩槻区大字岩槻3750番地

電話 048-756-1117

学校 Web ページ <https://nishihara-j.saitama-city.ed.jp/>



学校自己評価システムシート

校長 細井博幸

毎朝の校門での挨拶。今年の冬は、傘をさして挨拶をすることが本当に少ないと感じています。それもそのはずで、11月中旬から東日本太平洋側の降水量は30年に1度の記録的な少なさとなっており、この傾向は今月も続きそうです。春を感じる暖かな日が増え、天気がよいことはありがたいことですが、林野火災や農作物への影響が心配されます。

さて、先月13日に本年度最後となる第3回学校運営協議会が行われ、本年度の学校教育活動の総括、そして次年度の学校運営方針等への仮承認が行われました。本年度の学校教育活動を振り返る上で中心となるものが「学校自己評価システムシート」です。このシートは、学校が、保護者や地域住民等からの意見や評価を踏まえ、教育活動その他の学校運営の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表することにより、学校としての説明責任を果たすとともに、学校の教育力の向上を図ることを目的として校長が作成しているものです。学校だより12月号にてお伝えした「学校評価アンケート」の結果等を評価目標とし、本年度の達成度を示しています。

5つの項目の成果と課題の概要は以下の通りです。詳しい内容につきましては、本校ホームページに本年度と昨年度のシートが掲載されておりますので御確認ください。

① 学びの質の向上に関する取組

○朝の新聞ワークシートによる基礎学力向上タイム・スタサプタイムの取組により国語力が向上。ICTを活用した授業、生徒の主体性を高める授業がより一層広まっている。

▲3月より生徒端末がiPadに変更となり、これまで盛んに活用されてきたツールが変更となり、新たな環境に教職員が適応するとともに、研修を充実させる必要がある。

② 子どもの発達や心のサポートに関する取組

○生徒指導・教育相談ともに管理職への報連相、部会での対応検討、生徒への寄り添った対応、2年目となる校内教育支援センター（Sola る一む）の環境等、充実が図られている。

▲校内の充実が、保護者・生徒のアンケート結果に反映していないことについては、周知に力を入れていきたい。

③ 地域とともにある学校づくりに関する取組

○保護者・地域との連携について、この3年間で大きく改善が図られた。ボランティア活動の充実、西原小地域交流子どもフェスへの参加等、継続していきたい。

▲西原中PTAは、次年度の役員が決定していない。新入生保護者説明会において小林会長からも分かりやすいPTA活動への説明があった。保護者の皆様からの協力を願いたい。

④ 教育環境の整備に関する取組

○スクペイによる集金の電子化、生徒会費、部活動費などの用途、金額が見直された。

▲予算上改善が図れない箇所があった。次年度も継続的に市教委等への働きかけを行う。

⑤ 教職員のキャリア形成に関する取組

○教職員の一ヶ月当たりの時間外在校時間の平均は27時間と縮減が進められた。

▲研修部員を中心に、熱心な取組が進められたが、全ての教職員への波及が求められる。

学校運営協議会委員の皆様からは、学校の取組を後押ししていただく肯定的な御意見を多くいただきました。引き続き、「地域の学校として学校・家庭・地域が連携・協働し、社会に貢献できる人材を育む学校」を目指して学校教育活動の改善と充実を図ってまいります。